



# ASUKE WALK

## 香嵐溪

足助の代名詞『香嵐溪』。秋の紅葉はもちろんのこと、香嵐溪は、四季を通じてさまざまな表情を見せてくれます。

春の到来を告げるカタクリの花。新緑が眩しい初夏。夏はもみじの緑陰に涼を求め、巴川では子供たちの水遊びの歓声がこだまします。秋は絢爛豪華な紅葉に衣がえ。紅葉の鮮やかな色あいが川面までも染めつくし、まるで錦絵の様な美しさを見せています。

▲香嵐溪の新緑

▲新緑と山桜で萌える飯盛山

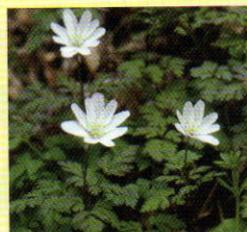
## カタクリの花の群落



春まだ浅い3月下旬、香嵐溪の飯盛山北西斜面一帯にカタクリの花が咲き乱れます。ピンク色の花が太陽の光を浴びて、風に揺れる様子は、可憐な少女のようにも見えます。

## 山野草

春の香嵐溪は山野草の宝庫でもあり、キクザキイチゲ、ヒトリシズカ、ヤマドリソウ、ニリンソウなどのかわいらしい花が次々と咲き続けます。



▲キクザキイチゲ



▲ヒトリシズカ



▲ヤマドリソウ

## 香積寺



杉木立ともみじに覆われた香積寺は、名を飯盛山と号す曹洞宗の古刹で、応永34年(1427)に創建されました。

香嵐溪のもみじは、香積寺11世の三栄和尚が寛永11年(1634)に植えたのがはじまりといわれています。



▲三栄和尚

## 三州足助屋敷



香嵐溪の中心に建つ三州足助屋敷は、かつてのこの地方の生活を今に伝えています。ここでは明治時代の豪農屋敷をモデルに新築し、私たちの周りから消えていった、機織り、炭焼き、紙漉き等多くの手仕事を復活・再現し、生活を省みる場所となっています。



- 休館日 / 毎週木曜日、年末年始 (祝日、及び4月29日～5月5日、11月中は開館)
- 入館料 / 大人300円、高校生以下100円
- お問い合わせ  
豊田市足助町飯盛36  
TEL (0565)62-1188  
URL <http://www.asuke.aitai.ne.jp/~yashiki/>

## 足助と町並み



足助は愛知県の北東にあり、豊田市のほぼ真ん中に位置しています。古くから太平洋側と中部山岳地帯と結ぶ伊奈街道の要地であり、戦国時代には、武田信玄をはじめとする戦国諸雄の軍兵が行き来した道でもありました。

三河湾でとれた塩を信州に運んだことから『塩の道』と呼ばれ、その物資の運搬には馬が使われたことから『中馬街道』などとも呼ばれています。

足助の町並みは、その街道とともに栄えてきました。

平成23年、足助の町並みは国の『重要伝統的建造物群保存地区 (略称：重伝建)』に選定され、着実に保存が図られていきます。



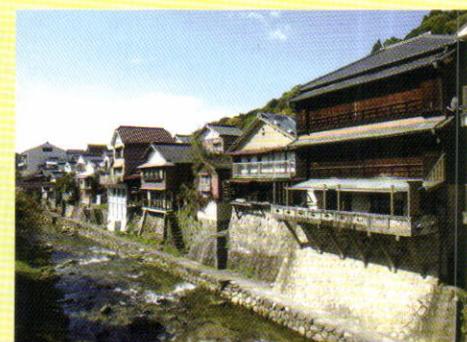
▲馬頭観音



▲マンリン小路



▲本町の町並み



▲足助川から見た町並み

## 町並みの催事

町並みでは、早春の町並みを華やかに彩る『中馬のおひなさん』、華やかな花車が引き廻される女の子のお祭り『足助春まつり』、街道を照らし、夏夜の町並み散策を楽しむ『たんころりんの夕涼み』、威勢のよい若衆の掛け声とお囃子、4台の豪華な飾りの山車が引き廻される『足助まつり』など、四季を通じて様々な催事が行われます。



▲中馬のおひなさん



▲足助春まつり



▲たんころりんの夕涼み



▲足助まつり

## 百年草



高齢化社会の中で、足助は住民一人ひとりが「生涯現役」でいられる福祉をめざしています。

宿泊施設と、おじいさん、おばあさんの手づくりで知られるZizi工房のハマヤパーバラはうすのパンの他にも、ホテル、入浴施設、本格的なフランス料理が味わえるレストランもあります。

- 定休日 / 毎週水曜日
- お問い合わせ / 豊田市足助町東貝戸10  
TEL (0565)62-0100 FAX (0565)62-2389  
URL <http://www.hyakunensou.co.jp/>



## 足助観光協会

〒444-2424 愛知県豊田市足助町宮平34-1  
TEL (0565) 62-1272 FAX (0565) 62-0424  
URL <http://asuke.info/>